

黒大豆の収穫

白糠高生が体験

総合的探究時間の一環

【白糠】白糠高校（田村信明校長）の1年生22人は25日、茶路のもりもりファーム（成澤寛和代表取締役）で「もりもり納豆」の原料などに使われる黒大豆の収穫を体験した。総合的な探究の時間の一環で、一次産業の現状や課題解決などを目的に町内の施設見学や農

業に関する学習を行っている。



黒大豆を収穫する生徒

生徒は約1000平方メートルの農園で、成澤代表の指導を受けながら約1時間かけて黒大豆約50キロを収穫した。佐々木葉月さん（16）は「農作業は思っていたより楽しかったし、集中して行うことができた。その一方で農業の大変さも知ることができ、とても勉強になった」と話していた。

（森崎博史）